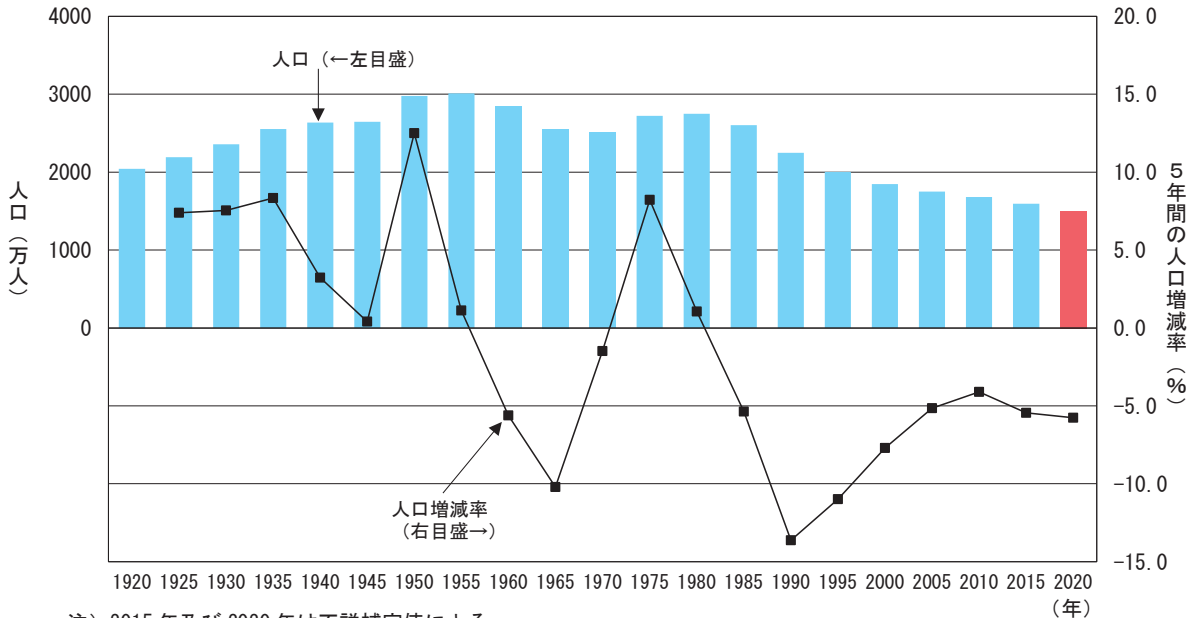


## 2-1 こども 一次世代の担い手は？

「一学年3クラスから2クラスに減った」「近くの学校が廃校になった」などという話を聞いたことがある人もいることでしょう。15歳未満人口の数は年々減ってきています。少子化の現状についてみていきましょう。

### Q1 15歳未満人口はどれくらい？

15歳未満の人口及び人口増減率の推移—全国（1920年～2020年）



注) 2015年及び2020年は不詳補完値による。  
 なお、2020年の人口増減率は不詳補完値により、2015年以前の人口増減率は原数値により算出

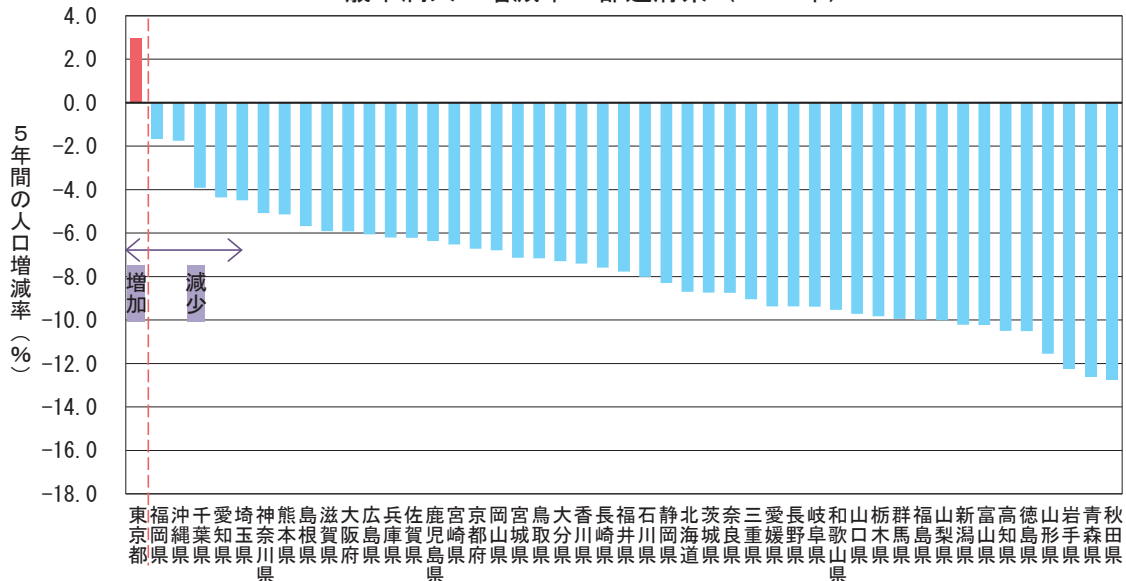
#### A 2020年は、1503万人

◆ 2020年は、5年前と比べて92万人（5.8%）の減少

※ 1950年と1975年はそれぞれベビーブームの影響で大きく増加しています。

### Q2 5年前と比べて、15歳未満人口が増加した都道府県はどこ？

15歳未満人口増減率—都道府県（2020年）

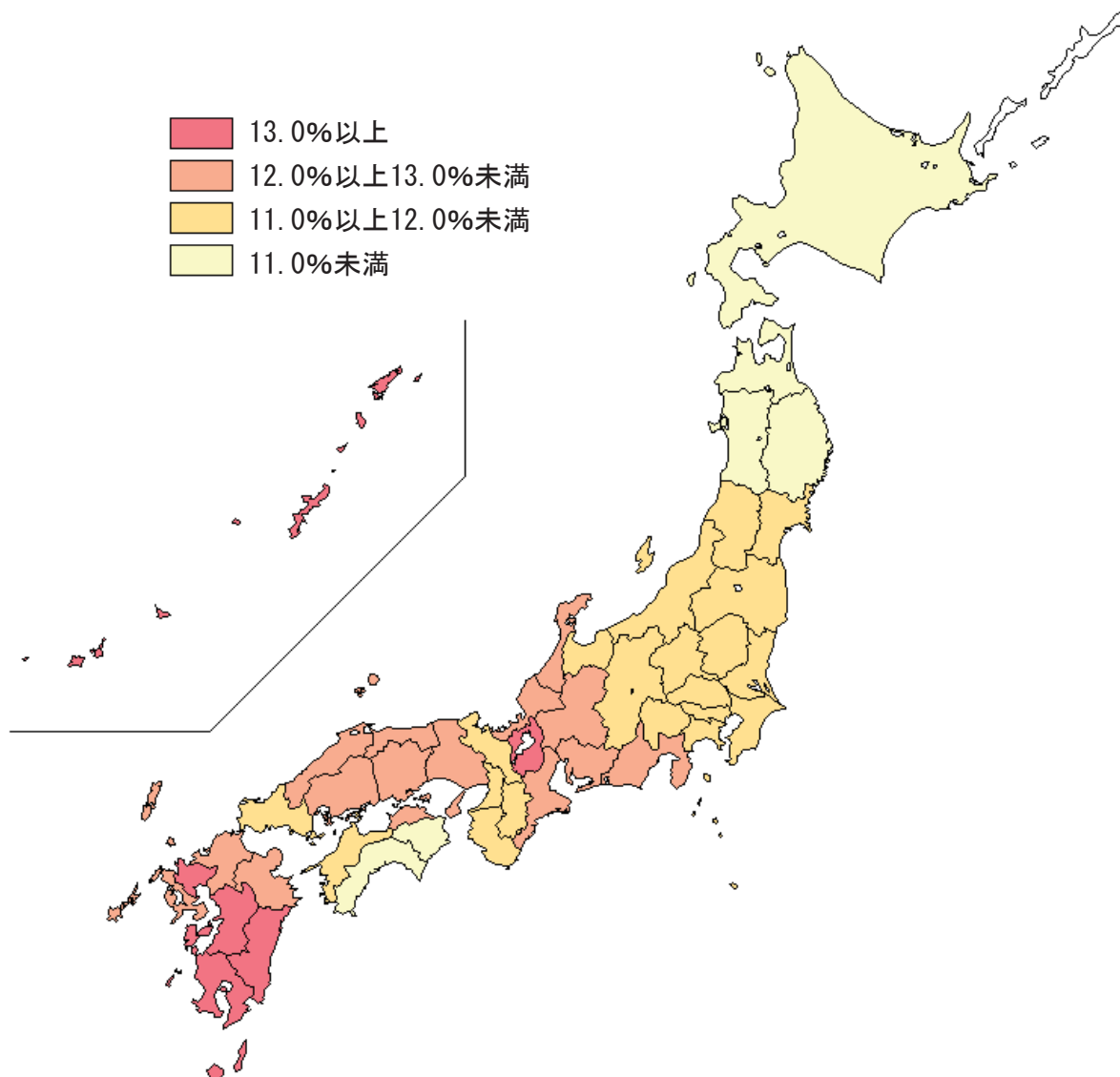


注) 不詳補完値による。

#### A 東京都のみが増加

### Q3 15歳未満人口の割合が最も高い都道府県はどこ？

15歳未満人口の割合—都道府県（2020年）



注) 不詳補完値による。

#### **A 15歳未満人口の割合が最も高いのは沖縄県で16.6%**

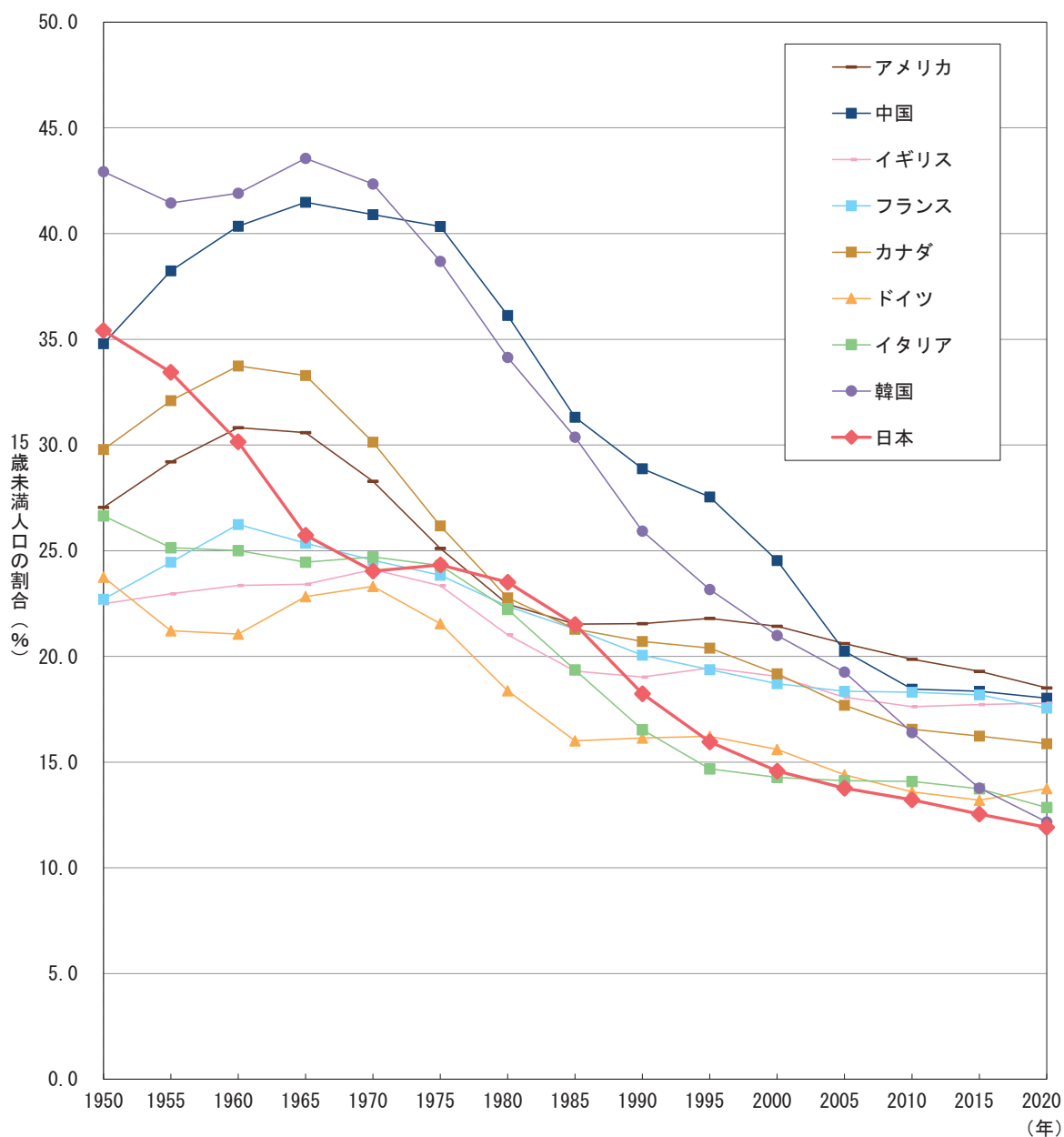
◆ 2位 滋賀県（13.6%） 3位 佐賀県（13.5%）

◆ 15歳未満人口の割合が低い都道府県は

1位 秋田県（9.7%） 2位 青森県（10.5%） 3位 北海道（10.7%）

## Q4 日本の15歳未満人口の割合を諸外国と比べると？

15歳未満人口の割合の推移—諸外国との比較（1950年～2020年）



資料：United Nations, "World Population Prospects, The 2022 Revision"による年央推計値。

ただし、日本は国勢調査の結果

注) 日本の2015年及び2020年は不詳補完値により算出

### A 2020年の15歳未満人口の割合は諸外国の中で、最も低い水準(11.9%)

- ◆ 諸外国の中で15歳未満人口の割合が低いのは、  
2位 韓国(12.2%) 3位 イタリア(12.9%)

※ ここでいう諸外国とは、G7(日本、アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、フランス、イタリア)、韓国及び中国を指しています。